

経済

産業界の新たな取り組みを追う

長洲町に2万枚のメガソーラー
有明工場の大規模太陽光発電施設が稼働



奥の有明工場に隣接し南向きに設置された太陽光パネル群。敷地内にある白い箱型の建造物は電力制御機器のパワーコンディショナー。計8基を備えている



太陽光パネルは20度の角度で設置。パネルを支えるアルミ製の架台はトステムとNTTファシリティーズが共同開発し商品化、今後はメガソーラー発電施設に販売を計画している



最大40人の見学者を受け入れることができる管理棟。展望台も併設する

サッシ、住宅建材メーカーの株式会社IXIL（リクシル、旧社名：トステム）が長洲町名石浜の有明工場内に建設していた、九州最大の規模太陽光発電施設（メガソーラー）が本格稼働した。出力3750キロワットは国内でも最大級。クリーンエネルギー製品開発に重点を置く同社が、工場東側の遊休地11万9千㎡に昨年8月着工し今年1月末に完成。総事業費は約19億円、このうち約半分は経済産業省の補助金を活用している。稼働した「リクシル有明ソーラーパワー」は2万280枚の太陽光パネルを備え、年間発電量は390万キロワット時で一般家庭約1千世帯分に相当する。発電した電力は有明工場で使用し全電力の約20%を賄い、休業日などに発生する余剰電力は九州電力に売電する。設置によるCO₂削減効果は年間約1500トン。4月からは小学生や団体の見学者を受け入れ、太陽光発電の普及啓発に務める。

親子のコミュニケーション講座
子どもを生み、自立した大人への育成とは(45回)

二人の人間を生み、養い、社会の中で自立した一人になるまで育てる。これが親の役割です。親は子どもの成長に大きな責任があります。そのため必要なものがコミュニケーション能力です。ここでは親と子のコミュニケーションのとり方についてアドバイスします。

今月のテーマ

『反抗期』(思春期編)



親業訓練インストラクター 津川 育子

いつの時代も、『反抗期』は親子にとつての高い高いハードルです。けれど、そのハードルを越えたとき、親子としてだけでなく、人と人の関係が始まっていくのかもしれない。自分の意思を持って生きていく、人同士の関係が。さて、今回は、前回の続き。第二次反抗期……いわゆる、思春期のお話です。思春期は自意識が高まっていく時期になります。内面はもろいですが、身体的にも大人へと変化し始める時期なので、嫌でも意識が自分自身へと向かうのです。この時期は、社会生活の中で、家族・先生・学友達と接しながら、自分自身を個別化させていく時期でもあり、人の目が気になって、外見や行動を常に意識するようになります。常に何かを意識していますから、当然精神的なストレスが溜まっていきますよね。自身を集団の中で個別化する上で、「自分は何が他の人と違うのだろう」「周りの人は自分をどういう風に見ているのだろう」「嫌われないだろうか」という風に、他人と自分の間に心理的な比較・競争が始まる時期とも言えます。だからこそ、大人がなでこなでしなだめたり、大きな劣等感や敗北感を感じてしまうようになるのです。

反抗期、と云ってしまえば簡単ですが、その時期は、子どもが大いに悩み、考え、行動しようとしている事を忘れてはいけません。ただ、だからといって親が全てを我慢しなければならぬ……というわけではありませんよ。親だって人間です。第二次反抗期で自我を持ち、第二次反抗期で自意識を育て始める子どもと向かい合うという事は、最初に書いた通り、人と人が向かい合うということなんです。親子であつたとしても、価値観が違うのは当たり前。価値観が違う人間同士がぶつかりあうのも、ストレスを溜めてしまうのも当然のことなんです。子育ての上でストレスを感じて、そんな自分に自己嫌悪なんかする必要はありません。親にだって息抜きが必要です。肩の力を抜いて、大人になっていく子どもを見守っていきましょう。

（筆者プロフィール）親業訓練インストラクター。大学卒業後、二子学館、近代経営研究所などの勤務を経て平成10年10月法人財育成サポーターを設立。22年2月に法人化。親業の勉強会・講座を随時開講。熊本県民カレッジ主催講座サテライト教室子育て応援講座などの講師も勤めている。県内各地での講演も多数。美里町教育委員。子どもは3人。著書として「愛の小箱（夫の闘病と家族模様）がある。

【問い合わせ】 ☎096-342-9733 ikuko.t@eagle.ocn.ne.jp

池澤 裕伸さん(47)
東京ブッククラブ金龍堂 社長
(熊本市上通町)
コミックの試し読みシステム「ためほんくん」を導入しました。これは店頭で設置した端末からコミックを検索して、1巻を試し読みできるものです。新刊情報などもチェックできるので、購入する漫画選びに活用してほしいですね。

木佐貫 浩一さん(48)
シャワー通りきさきクリニック 院長
(熊本市下通2丁目)
通称シャワー通り 扱い、ベスト電器 熊本本店南東側に内科クリニックを開院しました。病気の治療をするだけでなくアンチエイジングなどの予防医学を行い、体の内と外からきれいになるトータルメディカルケアを提供していきます。

西 いづみさん(24)
ル・シャントパレスタジオ 代表
(熊本市水前寺6丁目)
パレスタジオを 県庁東門近くにオープンしました。クラシック音楽に合わせ、筋肉を伸ばして体を動かすことはとても気持ちが良いですよ。ずっと習ってみたいからと、大人になって始める方も多いです。気軽に参加してほしいですね。

瀬崎 公介さん(33)
シークルーズ 常務
(上天草市松島町)
当社が運航する本渡・松島・三角定期航路「天草島ライン」と、JR九州の三角～福岡市内の区間で利用できる切符を発売しました。高い利便性や所要時間の短さ、低料金などの特徴を生かして販売し、天草に貢献していきたいですね。

元気発信！

元気発信！

元気発信！

元気発信！